

いこい通信

7号
2015年8月

発行：浪江町復興支援員宮城県駐在

2014年6月より、北海道・青森県・岩手県・宮城県の4道県にお住まいの浪江町民をサポートする浪江町復興支援員が宮城県内に配置しています。「いこい通信」では、支援員の普段の活動や、皆様にお伝えしたい地域の情報を発信していきます。

■ 浪江町内の視察に行ってきました

赤間は1年ぶりに、村田は初めて浪江町内を訪れました。

町の広報やニュース等で町の復興状況を聞いてはいましたが、実際に訪れ復興の状況を肌で感じてくることができました。



マリパークなみえ敷地内に建設された仮設焼却施設です。今年5/25に「火入れ式」を行い、7月より本格稼働しています。ここでは、津波で発生したがれきや片付けで出たゴミを処理します。



国道114号（富岡街道）を走行中、道路と歩道の整備を行っている現場とすれ違いました。その他にも、除染作業員や町民による「防犯見守り隊」など、町内で活動をしている方が1年前と比べると、増えたように感じました。



酒田地区で試験栽培されている田んぼの写真です。上は田植え翌日の5/19、下は7/2に撮影したものです。昨年も同じ農地で栽培が行われましたが、今年は河川から水を引いての栽培実験となっているとのことでした。

除染については、今年5月末の段階で完了したのは、酒田地区・高瀬地区・立野下地区の3地区になりました。また、7月からは酒田地区で上水道の通水も開始されました。町内全体では、排水管の約4割が復旧しているとのことでした。

少しずつですが、町内も復興へ向かって少しずつ変化をしています。

支援員がお邪魔しました♪

● 各地交流会へ参加

7月に仙台市青葉区・若林区、そして、岩沼市の交流会に参加しました。

どの交流会でも暖かく迎えていただき、初めての交流会への参加に緊張していた村田も、打ち解けてみなさんとお話することができました。



(左) 岩沼市の交流会 / (右) 若林区の交流会

7/27に参加した「福島交流会」は、福島県からの避難者なら誰でも参加できる交流会です。今年4月から、仙台市青葉区内で自主活動として開催されています。

今回は、長野県からボランティアが訪れ、蕎麦の振る舞いや高校生とのふれあい交流会が行われました。

かき氷やポップコーンなどが振舞われ、夏祭りのような賑わいでした。また後半では、ハーモニカの演奏に合わせて合唱も行われました。

次回の「福島交流会」は、9/29に宮城県南三陸町への被災地バスツアーとして開催予定です。バス代や食事代は実費負担となりますが、気になる方は支援員までお問い合わせください。



青葉区「福島交流会」 浪江町の参加者と記念写真

● 北海道個別訪問

7月下旬に、北海道内への個別訪問を実施しました。北海道は、6月末の段階で75名35世帯の方がお暮らして、今回は、4市町村の方を訪問しました。お忙しい中お時間を作っていただき、ありがとうございました。今回訪問できなかった世帯にもお電話等で、近況をお伺いさせていただきたいと思えます。



牧場を再建された方の飼っているヤギ

仙台市にて「なみえのしゃべり場」開催決定！



町長を迎えての町民交流会「なみえのしゃべり場」を、約2年ぶりに宮城県仙台市にて開催します。

当日は、町民同士の交流に加え、町の復興状況の説明や、町長との対話もあります。

また交流会と並行して、タブレットや生活困りごと相談コーナーも設置します。みなさまのご参加をお待ちしています！

日時：2015年9月6日(日)

13:00~16:00(開場:12:30~)

場所：ハーネル仙台 2階「松島」

(仙台市青葉区本町2-12-7)

※参加希望者は、事前に支援員までご連絡ください。

【連絡先】 ☎983-0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡2丁目3-15
一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム内
浪江町復興支援員宮城駐在 赤間・村田

【TEL】 080-9010-6375

【メール】 sien_miyagi@yahoo.co.jp

【ブログ】 <http://namiemiyagi.jugem.jp>

お近くにお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください！(毎週水・土・日曜定休)